

手法が一目でわかるものを

副題も必ずつけて下さい

ハフ変換とフーリエ変換を用いた細胞領域の抽出と追跡

～ 微細な曲線を検出することで細胞抽出を可能にした高速高精度なアルゴリズム ～

平成太郎†, ウィリアム・テイラー‡

†: 画像科学技術大学理工学部, taro@image.eng.u-pc.ac.jp

‡: Soho Corporation, taylor@soho.com

簡潔にまとめて下さい

題目をうまくフォロー

匿名希望の場合は空欄で。

ここにはアブストラクトを書いて下さい。アルゴリズムの最も大事なポイントを簡潔に3行以内で書いて下さい。また題目はアルゴリズムの内容が一目でわかるものにして下さい。サブタイトルも可能な限りつけて、しっかりとアピールして下さい。

1. はじめに

この文書は外観検査アルゴリズムコンテスト 2017 におけるアルゴリズムの概要を説明する CRC (Camera ready copy) 原稿書式の実例です。ダウンロードしたこのファイルを直接追加・修正してお使いください。ここでは、

- ・ アルゴリズムの概要
 - ・ 処理結果画像の例
 - ・ テスト画像に対する数値データの例
- などを簡潔に書いて下さい。ご提出いただきました原稿は、

ビジョン技術の実利用化ワークショップ

VIEW2018(2018年12月6,7日)

<http://www.tc-iaip.org/view2018/>

の予稿集に掲載される予定です。

注意事項をよくお読みの上、作成して頂けると幸いです。

2. ページ数

原稿は、

2 ページ

VIEW の予稿集は CD-R 版ですので、外観検査アルゴリズムコンテスト 2017 もそちらに掲載されます。原稿の長さは「2 ページ」とさせていただきます。皆様に作成いただきましたプログラムの説明を詳細にお書き下さい。また本予稿は、「特別賞」選考の際に参考にされますので、是非、アルゴリズムの工夫点などを詳細にお書き下さい。

3. 余白

A4 の用紙に、余白は上 25, 下 30, 左右 20mm。活字サイズは本文 10.5 ポ, 見出し 12 ポ, 文献 9 ポとしてください。行間は、15 ポですが適宜設定して結構です。

4. 写真や図表

図 1 及び表 1 に示す見本をご参照ください。写真には鮮明なものを使い、MS-Word などで作成する場合には、直接原稿内に貼り付けてください。アルゴリズムの有効性が一目でわかるような途中結果画像や最終結果画像などを必ず掲載して下さい。

また必ず、性能を示す数値データ(正解率と処理時間(使用したマシンスペック))を表にして掲載して下さい。

必須!

性能を示す数値

表 1 処理結果の例

成功率	480 個 / 500 個 (96%)
処理時間	92[msec/画像]

※CPU:Pentium4 3.40GHz, Memory:512MB, OS:WindowXP

処理の効果がわかるものを掲載して下さい

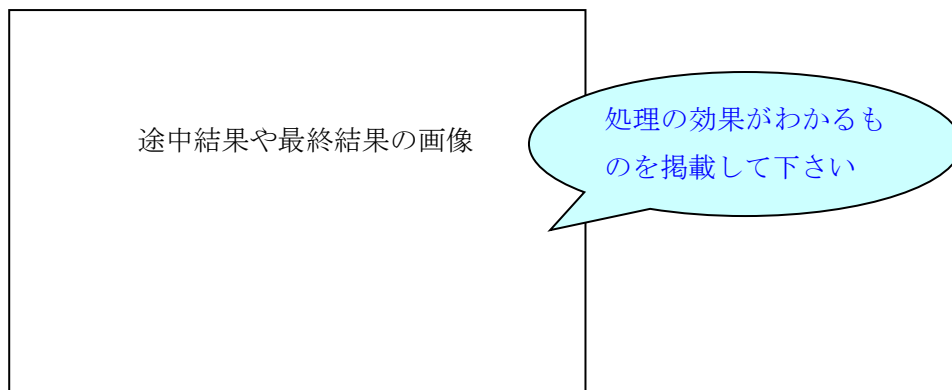


図1 ハフ変換による曲線の抽出例

原稿は原則として、白黒印刷となります。カラー印刷については、実費ご負担の上で可能な場合もありますので、事務局へご相談下さい。

5. 提出期限

2018年10月19日(金)

ViEW2018の予稿の締切より1週間早い!

原稿提出の遅れた論文は論文集に掲載されませんのでご承知おき下さい。

6. 参考文献

適切な参考文献は読者によって非常に有益なものです。論文内容の客観性、分野における位置づけなどを示します。参考文献[1],[2]はこの例のようにカッコで示します。

参考文献

- [1] A.Field: Research on Subjects by Some methods, Trans. ISFA, vol.34, no.2, pp.83-120, 2001.
- [2] 課題好二郎：広大なインターネット空間を対象との開発をするFA手法の提案，日本FA学会論文誌, vol.3, no.4, pp.124-129, 1999.